

解答

(1) 2 (2) 2 (3) 3 (4) 2 (5) 1 (6) 3 (7) 2

---

解答解説

(1) Why do some people support later school start times?

正解: 2

選択肢の和訳

1. 早い始業時刻のほうが教師にとって管理しやすいと考えているから。
2. 十代の生徒の自然な睡眠の型が、非常に早い時間割に合わないかもしれないと考えているから。
3. 生徒に学校で過ごす時間を減らしてほしいから。
4. すべての生徒が夕方のほうが成績がよいと考えているから。

正解の理由

本文第1段落第2文・第3文で、

“some researchers and educators have begun to argue that this schedule may not suit all students equally well.”

“teenagers are often said to have biological sleep patterns that make it difficult for them to fall asleep early and wake up fully rested at dawn.”

と述べられています。つまり、特に十代の生徒は生物学的な睡眠の型のために、早寝早起きが難しく、非常に早い始業時刻に合わない可能性があると考えられているのです。したがって②が正解です。

誤答の理由

1. 教師の管理のしやすさが支持理由だとは書かれていません。
  2. 授業時間を減らしたいという主張ではありません。
  3. すべての生徒が夕方に高い能力を発揮するとは書かれていません。
- 

(2) According to the passage, what is one possible advantage of later start times?

正解: 2

選択肢の和訳

1. それによって、すべての生徒が必ずテストの点数を上げられる。

2. それによって、生徒は授業中により目が覚めていて集中しやすくなる可能性がある。
3. それによって、放課後活動が不要になる。
4. それによって、学校はすぐに輸送費を削減できる。

正解の理由

本文第2段落第1文で、

“students who start school later may sleep longer, feel more alert in class, and show better mood and concentration.”

と述べられています。つまり、始業時刻を遅らせることで、生徒が授業中により覚醒し、集中しやすくなる可能性があるのです。したがって②が正解です。

誤答の理由

1. すべての生徒の成績向上が保証されるとは書かれていません。
  2. 放課後活動が不要になるとは述べられていません。
  3. 輸送費がすぐ下がるとも書かれていません。
- 

(3) What is the author's main point in the final paragraph?

正解: 3

選択肢の和訳

1. 始業時刻を遅らせることは、すべての学校でできるだけ早く導入されるべきである。
2. 始業時刻を遅らせることは、生徒の勉強時間も減らさなければ効果がない。
3. 始業時刻を遅らせることは役立つ可能性があるが、より広い計画の一部であるべきである。
4. 始業時刻を遅らせることは問題が多すぎるので検討する価値がない。

正解の理由

最終段落第1文・第2文で、

“later start times should be considered seriously, but not introduced without careful planning.”

“it should be part of a broader effort to improve sleep habits and student health rather than treated as a complete solution by itself.”

と述べられています。つまり、始業時刻を遅らせることには利点がありうるが、それだけで十分ではなく、睡眠習慣や健康改善を含むより広い取り組みの一部として考えるべきだとい

うのが筆者の主張です。したがって③が正解です。

誤答の理由

1. すぐにすべての学校で導入すべきだとは書かれていません。
2. 勉強時間を減らす必要があるとは述べられていません。
3. 検討する価値がないとはむしろ逆です。

---

(4) What problem is underground energy storage meant to address?

正解: 2

選択肢の和訳

1. 石炭による発電費用が高すぎること。
2. 天候によって供給が変動する再生可能エネルギーの利用の難しさ。
3. 太陽光発電や風力発電への一般の関心の低さ。
4. 技術者が現代的な電池を作れないこと。

正解の理由

本文第1段落第1文・第2文で、

“one major challenge is how to store energy for times when the sun is not shining or the wind is weak.”

“engineers are developing systems that store energy underground.”

と述べられています。つまり、地下エネルギー貯蔵は、太陽光や風力の供給が天候によって不安定になる問題に対応するために考えられているのです。したがって②が正解です。

誤答の理由

1. 石炭発電の費用が主題ではありません。
2. 一般の関心の低さに対処する技術ではありません。
3. 電池を作れないからではなく、別の選択肢として述べられています。

---

(5) Why do some people support underground energy storage?

正解: 1

選択肢の和訳

1. それによって、再生可能エネルギーの仕組みがより安定したものになる可能性があるから。
2. それによって、電池がまったく不要になるから。

3. それは、どこにでも簡単に設置できるから。

4. それによって、すべての利用者の電気料金が必ず下がるから。

正解の理由

本文第2段落第1文で、

“Supporters of underground storage argue that it could help make renewable energy more reliable.”とあります。つまり、地下貯蔵が支持される理由の一つは、再生可能エネルギーをより安定的に利用できるようにする可能性があるからです。したがって①が正解です。

誤答の理由

1. 電池が完全に不要になるとは書かれていません。
2. どこにでも設置できるとはむしろ逆で、地質条件に制約があると書かれています。
3. 電気料金の低下が保証されるとは述べられていません。

---

(6) What concern does the passage mention about underground energy storage?

正解: 3

選択肢の和訳

1. それは、電池による貯蔵より常に多くの化石燃料を必要とする。
2. それは、ごく少量の電力にしか使えない。
3. 適した地下条件はすべての場所に存在するわけではない。
4. それは、たいいていの国で効果がないことがすでにわかっている。

正解の理由

本文第3段落第1文で、

“suitable geological conditions are not available everywhere.”

と述べられています。つまり、地下エネルギー貯蔵には適した地質条件が必要であり、それがどの地域にもあるわけではないことが課題として挙げられています。したがって③が正解です。

誤答の理由

1. 常に多くの化石燃料を必要とするとは書かれていません。
2. 小規模にしか使えないとは述べられていません。

3. 多くの国で効果がないと断定しているわけではありません。

(7) What does the author suggest in the final paragraph?

正解: 2

選択肢の和訳

1. 地下貯蔵は、ほかのすべてのエネルギー技術に取って代わるべきである。
2. 地下貯蔵は価値がある可能性があるが、より大きな仕組みの一部として考えるべきである。
3. 地下貯蔵は、どの電池技術よりも役に立たない。
4. 地下貯蔵は、再生可能エネルギーがなくなるまで避けるべきである。

正解の理由

最終段落第1文で、

“underground storage should be viewed as one possible part of future energy systems rather than as a single answer”

と述べられています。つまり、地下貯蔵は将来のエネルギーシステムの一部として有用である可能性はあるが、それだけで問題を解決する単独の答えではないというのが筆者の立場です。したがって②が正解です。

誤答の理由

1. ほかの技術を置き換えるべきだとは書かれていません。
2. どの電池技術よりも劣るとは述べられていません。
3. 避けるべきだとも書かれていません。

全訳

Rethinking School Start Times

多くの国で、学校の一日は朝早く始まるが、その時刻は長い間、あまり疑問を持たれることなく受け入れられてきた。しかし近年、一部の研究者や教育関係者は、この時間割がすべての生徒に同じように適しているわけではないと主張し始めている。特に十代の生徒は、生物学的な睡眠の型のために、早く眠りにつき、夜明けに十分休んだ状態で起きることが難しいとよく言われる。その結果、始業時刻を遅らせることが、学習と心身の健康の両方を改善する可能性があると考えられる人もいる。

この考えを支持する人々は、始業時刻が遅い生徒はより長く眠り、授業中により目が覚めており、気分や集中力もよくなる可能性があることを示す研究を挙げている。また、始業を遅らせることで遅刻が減り、十分な休息を取れることで体の健康にもよい影響があるかもしれないと主張する人もいる。この見方では、時間割の変更は学校を楽にすることではなく、思春期の生徒が実際にどのように機能しているかに合わせて調整することだと考えられている。

それでも、始業時刻を変えることは必ずしも簡単ではない。学校の時間割は、交通機関、放課後活動、家庭の生活、そして教師の勤務時間にも影響を与える。したがって批判者たちは、たとえ始業を遅らせることが生徒に利益をもたらすとしても、その変化がより広い地域社会にどのような影響を与えるかを学校は考えなければならないと主張している。また、追加の睡眠が本当に得られるのかについても議論があり、単に生徒が夜更かしをするだけかもしれないと考える人もいる。

このため、多くの専門家は、始業時刻の後ろ倒しは真剣に検討されるべきだが、慎重な計画なしに導入されるべきではないと考えている。彼らの見方では、学校の一日の始まりを変えることは多くの生徒を助ける可能性があるが、それだけで完全な解決策と見なすのではなく、睡眠習慣や生徒の健康を改善するより広い取り組みの一部であるべきなのである。

Storing Energy Underground

各国が太陽光や風力の利用を増やす中で、大きな課題の一つは、日が照っていないときや風が弱いときのために、どのようにエネルギーを蓄えるかである。電池はその一つの方法としてよく取り上げられるが、それだけが選択肢ではない。いくつかの地域では、技術者たちが地下にエネルギーを蓄える仕組みを開発している。これらの方法には、地下空間に空気を送り込むこと、深い岩層に熱を蓄えること、あるいは余った電力で地下の異なる高さの間で水を移動させることなどが含まれる。細かな仕組みはさまざまであっても、目的は同じである。供給が多いときにエネルギーを蓄え、需要が高まったときにそれを取り出すことである。

地下貯蔵の支持者は、それが再生可能エネルギーをより安定したものにする助けになると主張している。天候は変化するため、太陽光や風力による電力は、必要な瞬間にいつも得られるとは限らない。大量のエネルギーを効率よく蓄えられるなら、電力の仕組みはより安定し、化石燃料への依存も弱まるかもしれない。また、一部の研究者は、地下の仕組みは普

通の電池では難しいような大規模な蓄電に向いている可能性があると指摘している。

しかし、地下エネルギー貯蔵には懸念もある。こうした設備の建設には費用がかかり、適した地質条件もどこにでもあるわけではない。さらに、地域住民は安全性や環境への影響、地下空間を産業目的に使うことの長期的な影響について不安を抱くことがある。そのため批判者たちは、有望に見える貯蔵方法であっても、広く導入される前に慎重に調べる必要があ

ると主張している。

こうした問題があるため、多くの専門家は、地下貯蔵は将来のエネルギーシステムの一つの要素として考えるべきであり、再生可能エネルギーの課題に対する唯一の答えと見なすべきではないと考えている。その有用性は、費用、地理的条件、そしてほかの技術とうまく組み合わせるかどうかによって決まるだろう。

---

## Speed Reading Practice for Eiken Pre-1: No. 9

- 1 schedule [ʃédju:l] (n) 予定、時間割
- 2 biological [bàiələdʒikəl] (adj) 生物学的な
- 3 adolescent [ædələsənt] (n)(adj) 青少年; 思春期の
- 4 alert [əlé:t] (adj) 注意深い、はつきり目が覚めた
- 5 concentration [kònsəntréiʃən] (n) 集中、濃度
- 6 tardiness [tá:dinis] (n) 遅刻、遅れがちであること
- 7 routine [ru:tí:n] (n) 日課、決まった手順
- 8 introduce [ìnrədjú:s] (v) 導入する、取り入れる
- 9 renewable [rinjú:əbl] (adj) 再生可能な
- 10 engineer [èndʒiníə] (n) 技術者、技師
- 11 formation [fɔ:méiʃən] (n) 形成、層
- 12 supply [səplái] (n)(v) 供給; 供給する
- 13 reliable [riláiəbl] (adj) 信頼できる、安定した
- 14 offset [ófset] (v) 埋め合わせる、相殺する
- 15 aviation [èiviéiʃən] (n) 航空、航空産業
- 16 fossil fuel [fósəl fjú:əl] (n) 化石燃料
- 17 facility [fəsíləti] (n) 施設、設備
- 18 geological [dʒiələdʒikəl] (adj) 地質学的な
- 19 adopt [ədv'pt] (v) 採用する、導入する
- 20 technology [teknólədʒi] (n) 技術、科学技術